1. LIVICEの説明

未来の医療の形をこれから体験して頂きます。

テクノロジーの発展により自動で健康管理をする時代が来ようとしています。

生体データを身に着けているものから取得してインターネットを通じて健康管理をできる仕組みが現在研究されています。

生体データ取得をするテクノロジーの例としてGoogleが採血できるデバイスの開発を行っています。このように世界中で研究されています。

将来的には血中成分やホルモンバランス、脳や臓器の状態などをウェアラブルデバイスがチェックしてくれる時代がきます。

そこで、私たちはごく近い未来、世界中で利用されるようなシステムを考えました。

このシステムによって私たちのライフスタイルは劇的に変革されることでしょう。

私たちが考えたシステムLIVICEとはLiving Inovation Deviceの略で、

「生活を革新する装置」という意味が込められています。

このシステムは誰もが恩恵を得られる素晴らしシステムですが、

特に、定期的な通院をしていたり持病があったりする高齢者にこそ最も役立つ

ものとなっています。

それでは実際にLIVICEのある社会をあなたに体験して頂きましょう。

1. LIVICEシステムとは

生活に寄り添う端末、それが「リバタン」です。

「生体データ」、「投薬データ」、「運動量」などを意識することなくリバタンが収集し、

その情報を基にユーザへアドバイスを行います。

「リバタン」腕時計や衣類など様々なあなたの生活に寄り添うことになります。

1. LIVICEシステムとは

「リバタン」から収集したヘルスデータを病院や製薬会社へ提供することで

「新医療サービス」を受けることができます。

ほかにも、提供した情報から生活改善の為のアドバイスなど「暮らしのサポート」を受けることができます。

デバイス自体を「リバタン」、ネットワーク上にある大きな仕組みを「LIVICEシステム」と呼びます。

1. LIVICEシステム

LIVICEシステムによって大きく二つあなたの生活が変革されます。

1つ目として健康管理、通院の形が変わります。

現在の医療では、通院や健康管理に膨大な時間や負担が掛かっています。

LIVICEシステムを利用することで通院や健康管理にかかる手間を軽減し、

健康的な生活を送れるように徹底的にサポートします。

1. LIVICEシステム

従来の診察方法では、持病を持っている人や薬の処方を求める人は毎回生活圏から出て、病院に通う必要がありました。

本当に病院にいかないとできないことでしょうか？

病院外での診察、病院から患者へのアドバイスの場があれば新しい治療のカタチが生まれるはずです。

1. LIVCEシステム

従来、通院して診察を受けていましたが、LIVICEシステムを利用することで

通院の必要性がなくなり、診察の度にかかっていた待ち時間から解放されます。

好きな時間により多くの時間を使うことができ、気持ち的にもより余裕をもった生活を送ることができるようになります。

病院に通う頻度が高い、お年より世代の人たちが元気になる「LIVICEシステム」の

象徴的な機能です。

1. LIVICEシステムにより、何が変わるのか

2つ目として、ジェネリック医薬品、健康食品などがよく出回るようになります。

製薬会社のメリットとして病院からのテスタの斡旋があります。

病院からテスターに最適な患者を紹介してもらうので正確性の高いデータ収集が可能になります。また、業界にも新薬の認可までにかかる期間を短くすることができるメリットがあり、医薬品業界の活性化につながります。

製薬会社だけでなく、服用者にもメリットがあります。

自分に合った医薬品を安価で服用できるようになります。

さらに、生活改善に役立つ健康食品を受け取ることができます。

このように製薬会社、服用者ともにメリットのあるWIN-WINの関係を築くことができます。

1. LIVCE

実際のＬＩＶＩＣＥシステムではリバタンが

自動的に心拍数などの生体データを取得しますが、

これは使用者が常にリバタンを身に着けているからできることです。

リバタンによるサポートを完全に受けるには、

一週間分以上の生体データが必要になります。

なので、今回はリバタンが判断に必要な情報を選択していただきます

あなたのライフスタイルを教えてください。

**ウェアラブル＞アドバイスを開く**

1. 実際のデータの流れ①リバタン内部のデータ

ここで大事なのがユーザーが何かアクションを起こす必要はないということです。

睡眠中にホルモンバランスが崩れている場合に初期症状のうちに「リバタン」が通知してくれます。このように「リバタン」が自動的にアドバイスをくれます。

**病院画面を開く**

1. 実際のデータの流れ②リバイスシステムのデータ

**病院画面**で医者が患者リストから患者を選択する。

(必ずリスト最上部の患者を選択する)

**↓**

**患者詳細＞年間グラフタブ**を確認する。

過去の症例と比較することにより、医師が事前に危険な状態になる前に検知してアドバイスを送ることができます。

**↓**

**患者詳細＞アドバイスタブ**　にてアドバイスを入力し登録を押下する。

**↓**

**患者詳細＞アドバイス**に通知が来るので「了解」ボタンを押下する。

ここでも大事なのが、ユーザーは通知を受け取るだけということ。

**↓**

**病院画面**は一覧画面に戻しておく。

1. 医師が具体的に比較して利用しているスライド（パワーポイントとの兼ね合いで無くなる可能性有）

医師が過去の症例と比較、分析を行い、患者にとって必要なアドバイスを「リバタン」へ通知することができます。

1. 実際のデータの流れ③緊急通報機能の流れ

「リバタン」使用者が緊急事態に陥ったとき、リバタンは誰よりも早く異常を感知、医師へ知らせます。

病院側画面では、緊急通報があったとき、すぐにわかります。

ここで医師が適切な対応を行うことが求められますが、そのためには患者がどういう持病を持っているか、どのような薬を服用しているかといった情報がないと、適切な処置が行えません。

「リバタン」と「ＬＩＶＩＣＥシステム」は、電子カルテの情報を格納しています。

これにより、搬送された病院がかかりつけの医院でなくても、知り合いがいない旅行先でも患者に一番あった処置をすぐに行うことができます。

いざというときに安心できるこの仕組みがあることにより、高齢者は気軽に旅行や外出を行うことができるようになり元気になります。

1. 実際のデータの流れ③ジェネリック医薬品

医薬品を服用したとき、服用者の生体データがリアルタイムに取得できる状況はジェネリック医薬品や健康食品などのデータ収集に最適の場である。

医薬品メーカー、食品メーカーとリバイス使用者を結びつけることで、医薬品の進歩、信頼性の証明、新商品の宣伝といったメリットが得られます。

その結果、医薬品や健康食品を提供する市場が活性化する材料となることでしょう

1. まとめ

●リバタンにより、

使用者に合った健康的な生活を送るためのアドバイスを受けることができます。

●リバイスシステムにより

通院の手間が格段に減ります。

今までにはなかった、詳細で即応性のある治療が受けられるようになります。

医薬品などの市場が活性化し次の世代へ知識とノウハウを残せるようになります。

LIVICEシステムを利用することでお年寄りが元気になります。

注1）280文字/分×5分＝1400程度

注2）各タイトルは要編集